

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/10/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

高値更新続く、需要上振れへの警戒感

NY原油先物相場は、1バレル=82ドル台前半まで値上がりする展開になった。短期的な過熱感から調整売りが膨らむような場面もみられたが、需給ひっ迫化に対して根強い警戒感があり、上値追いの展開が維持されている。為替市場でドル高圧力が一服したこともポジティブ。2014年10月以来の高値を更新している。ブレント原油は85ドルの節目を一時上抜いている。

国際エネルギー機関 (IEA) は10月14日に公表した月報において、エネルギー危機によって原油に対して日量50万バレルの追加的需要が発生する可能性を指摘した。その上で、世界石油需要についても2021年は日量17万バレル、22年は21万バレル、それぞれ上方修正している。また、10~12月期には石油輸出国機構 (OPEC) プラスの供給量は必要とされる水準を70万バレル下回るとの見通しも示した。年末に向けての在庫減少見通しが一段と強化されていることが、原油相場に対する買い安心感をもたらした。余剰生産能力が低下する中、将来の需要を満たすためには投資を拡大する必要性を訴えている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (10月8日時点) は、原油が前週比609万バレル増、ガソリンが196万バレル減、石油精製品が2万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫見通しで基調強いが、過熱感から短期調整リスク高い

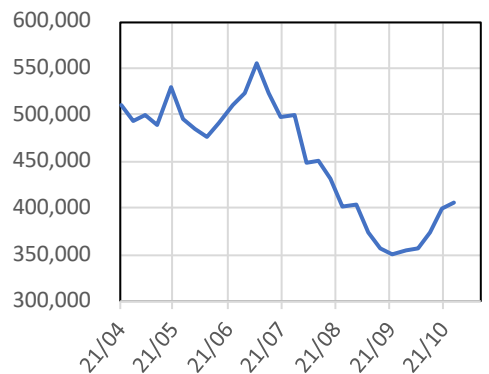
年末に向けての需給ひっ迫見通しが維持され、基調は強い。液化天然ガス（LNG）や石炭価格が高騰しており、原油相場のみが大きく値下がりするリスクは限られる。ただ、オシレーターは強い過熱感を示しており、特に意味なく持高調整で急落するリスクも高まっている。85ドルの節目を目指す展開が維持されるが、高値波動の中で瞬間的な80ドル割れのリスクは想定しておく必要がある。高値掴みには注意が必要。

サウジアラビアのアブドゥルアジズ・エネルギー相は、消費国から増産要請の声が強くなっていることについて、OPECプラスは既に増産を行っているとして、政策調整の必要性について否定的な立場を再確認した。年末に向けて在庫正常化が進むとの見通しを示す一方で、2022年に再び供給超過になる危険性について言及している。原油高が政策調整の議論を活発化させないのであれば、需給ひっ迫見通しが維持され易い。

ラニーニャ現象の発生リスクが高まっているため、厳冬による需要拡大に対する警戒感も浮上し始めていることはポジティブ。一方、国際通貨基金（IMF）は7月から世界経済成長率を0.1%引き下げるなど、世界経済の先行き不透明感も高まりつつある。特に中国では電力供給不安が経済活動を制約しており、各種経済指標で景気減速が意識されることで、楽観的な需要見通しが修正を迫られるリスクには注意が必要。

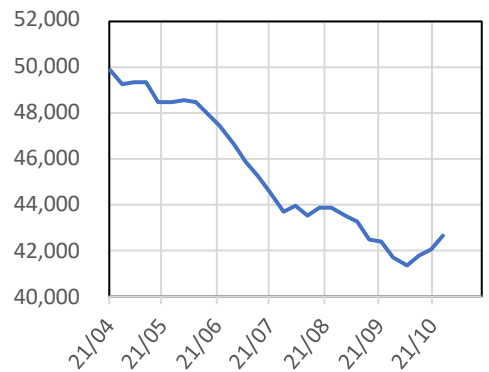
マーケットの関心は高まっていないが、米原油在庫は3週連続で増加している。製油所のメンテナンスシーズンという季節要因の影響が大きいですが、短期的な材料出尽くし感も強いだけに、更に在庫増加が進むと、利食い売りのきっかけになる可能性はある。イベントリスクとして週間在庫統計にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



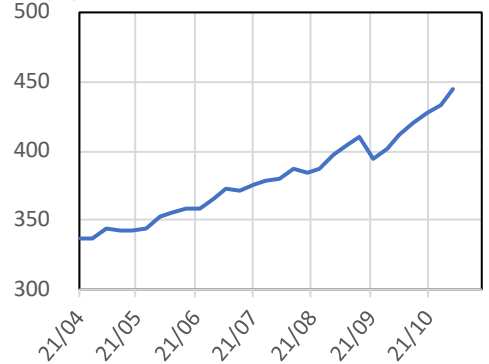
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

